

介護ロボット導入促進事業の概要と状況報告

1 事業目的

介護従事者の負担の軽減を図るために有効な機器である介護ロボットの導入を促進し、働きやすい職場環境を整えることで、介護従事者の確保を図ることを目的とする

2 補助額及び補助率

【要綱上(当初協議時)】 1事業所につき3,000千円を上限として購入費用の全額
 【内示時条件】 購入費用のうち1法人1事業所につき927千円を上限
 ※いずれも1機器あたり20万円以上のものに限る

3 補助対象要件

下記の3条件を満たす介護ロボットであること

(1) 目的要件

日常生活支援における、ア)移乗介護、イ)移動支援、ウ)排泄支援、エ)見守り、オ)入浴支援のいずれかに負担軽減効果がある介護ロボット

(2) 技術的要件

次のいずれかの要件を満たす介護ロボット

- ・ロボット技術(※)を活用して、従来の機器ではできなかった優位性を発揮するロボット
- ※ア)センサー等により外界や自己の状況を認識し、イ)これによって得られた情報を解析し、ウ)その結果に応じた動作を行う介護ロボット
- ・経済産業省が行う「ロボット介護機器開発・導入促進事業」において採択された介護ロボット

(3) 市場的要件

販売価格が公表されており、一般に購入できる状態にあること

4 状況報告

事業所名	介護ロボットの種別	平成28年度導入時報告		平成29年度報告	
		導入効果	課題	効果	課題
特別養護老人ホーム 太陽園	移乗介護用ロボットスーツ	・移乗介助時に特に体格の大きい方への介護従事者の負担が軽減された ・おむつ替え、衣類の脱着介護時に同じ姿勢を長く保つ際にこれまでより楽に感じられる ・移乗介助時にかかる時間がユニットあたり20分→15分程度まで短縮された	・体の小さな女性職員は重たく感じる ・比較的大型のため、装着に手間取ったこともある	・腰痛予防 ・転倒の減少	・素材や形状、大きさ、重量に問題がある ・設定や準備に時間がかかる
特定施設入居者生活介護 ケアタウンとてっぽの丘るくる					
地域密着型介護老人福祉施設 にれの木					
小規模多機能型居宅介護事業所 コムニの里 おびひろ	見守りセンサー付き電動ベッド	・入居者の常時見守りが不要となり、特定の利用者への定時見守り介護時間の短縮が図られた ・利用者の自立度に応じて活動許容範囲を決め、それを越えた場合に自動的に通報されことから、事故等の未然防止に寄与している	・利用者の体重に合わせての初期設定が必要になる為、自動初期設定の機能がほしい ・誰が読んでもわかりやすいマニュアルを作成してほしい	・転倒の減少 ・利用者に合わせた対応が可能 ・利用者の生活リズムの把握	・利用者や環境に合わせた調整が難しい ・持ち運びしにくい
介護老人保健施設 ヴィラかいせい					
地域密着型介護老人福祉施設 アルベジオ					
介護老人保健施設 アンダンテ					
介護老人保健施設 アメニティ帯広					